

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	トヨタ自動車株式会社
-----	------------

安全衛生取組事例
<p>1. 工場で安全人間づくりの教育事例 ……事例1</p> <ul style="list-style-type: none">・体感教育を中心にして、現場の作業で危ないものを危ないと思い、安全を考えることができる人材の育成
<p>2. 事務・技術員向け一人ひとりの安全能力向上 ……事例2</p> <ul style="list-style-type: none">・一人ひとりの安全能力が見える化と、相互啓発による能力向上を通じた 事務・技術員向け「自分の身は自分で守れる人」の育成
<p>3. コミュニケーション活性化事例 ……事例3</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションの活性化により、困りごとを共有・共感し、管理監督者からメンバー一人ひとりが本気になって解決に導くことにより、職場の一体感を生み出し、安全マインドや職場力・競争力を向上させる

安全人間づくりの教育事例

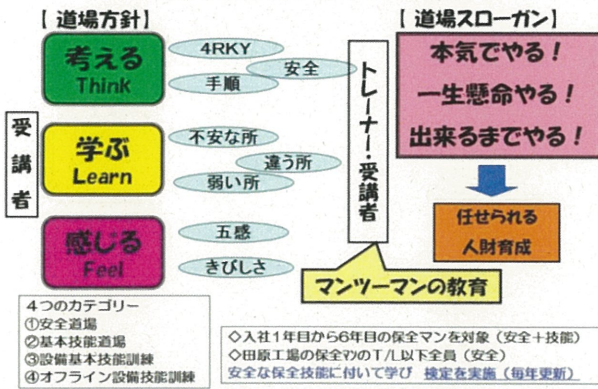
ねらい

体感教育を中心にして、現場の作業で危ないものを危ないと思い、安全を考えることができる人材の育成

概要

保全人材育成道場

人財育成道場のこだわり



①安全道場

守らなかったらどうなる？
 止めない、手を抜く、順序を間違える → 災害発生

体感 10工程

- ①危ない物を危ないと思う事を知る
- ②その為には作業の前に考える
- ③これでケガはしない！判断・行動

本当にやれるのか？
 安全な作業が出来ますか？
 日頃の作業方法は合っていますか？

検定 8工程
 手順・方法が通ってたらやり直します。

- ①何が危険か4RKY
- ②作業手順作成
- ③実際に作業する

①安全道場【検定事例】

◇異常処置作業安全検定

【検定課題】テーブル上の2個の箱を下にあるテーブルに移動してください

- (1)考えさせる(課題のみ説明)
 ①作業前に4RKY
 ②作業手順書作成
 ③フォロー
- (2)やらせる(何も言わない)
 ①手順書の手順で実技
 ②フォロー
- (3)【トレーナーによる検定後のフォロー】
 ①状況の確認はしましたか？
 ②物の材質は(鉄・木材・ゴム・樹脂・他)
 ③持ち手の場所(作業手順)
 ④持つ時の姿勢は良いか(KY)
 ⑤周辺の4Sは(足元等)

②基本技能道場【検定事例】

15の工程により構成されています

【基本工具工程】
 ◇127種類の工具を使用して基本工具の正しい取り扱いを理解する。
 ◇ベルト、チェーンの交換及び調整などの正しい手順を身に付ける。

【加工工程】

- ①工具名称を言わせる
- ②工具を使わせてみる
- ③課題を工具を使用し製作させる

基本工具を使用して測定→図面→加工
 課題制作検定
 ねじ切り加工工程 (加工)

③設備基本技能道場(体感事例)

◇モーター・シリンダー・ベアリング・バルブなどの構成部品の機能や材質の理解
 ◇過去に発生した災害事例を体感する

ハンマーで叩いてフーリを抜く時に指を叩いた

フーリをバイスで固定し正しい方法(フーリ抜き)で外す作業体感

・4RKY
 ・作業手順
 ・作業実施

アッ産 9411

④オフライン設備技能道場(体感)

日頃使っている実機設備で異常処置をしてもらいライン復帰させる

- (1)設備の概要、構造を理解する…設備立ち上げ設備取り扱い
- (2)共同作業時の指揮者訓練…4RKY
- (3)異常処置訓練…調査・原因追求・共同作業・作業指揮・復旧・保全
- (4)TPM…日常点検 定期定量(予防) 再発防止 早期復旧

他に
 ⑤ウレタン塗布工程
 ⑥通信・生産指示工程
 もありです。

①フリクションコンベアー工程
 ②P&F実習場
 ③自動組付工程
 ④フューキ液注入工程

一人ひとりの安全意識を変える活動

危険を危険として
感じる感性が低下

ねらい: **体感教育を主体に安全感性の向上**



強育

現地現物

・安全を考えることが出来る
人財を育成(強い人)

協(共)育

相互指摘

・管理監督者も共に学び
・お互いの気づきの場

今日育

本場の本物

・スピード感を持った対応
・ホットな災害を3日以内に再現



「安全を考得る人財」づくり

1. 現場探検

▼新人～新任課長まで
(実際の作業で危険を見つけ出し)

◆実際の作業を
現地現物で確認

①現場の実作業で 危険を探る



危険に対する
感性・視野を拡大

②自職場での実践と 報告会でのほめる活動



・職場を含め
さらなる
やる気の
引き出し

技能系次長が激励

2. 現場防険

▼中堅技能員～新任課長までの
リーダー層の意識改革

◆元町工場
安全人財センターでの教育

①災害情報を基になぜなぜ 危険を防ぐ



なぜ災害が起きたのか、
物的・人的面より個人で考える

②実際の災害の体感 ⇒3日以内に体感機で再現



災害情報だけでは伝わり切れない
状況や怖さを認識

2. 現場防険

▼中堅技能員～新任課長までの
リーダー層の意識改革

◆元町工場
安全人財センターでの教育

③自職場の展開を考える



・自職場へ災害情報をどう展開するか?
・類似災害防止で自職場を視る視点とは?

④グループ討議で意見交換



視点や対応の気づきを深め、
問題を見つけ出す意識と
能力を変える

3. 体感する・使う

◆元町工場
安全人財センターで製作

①出前体感屋台



いつでも何処でも誰でも

②実際の災害の体感



本場・本物により近い物を再現

③工具・道具を使う



工具を使う中で危険を感じ
正しい使い方を習得

事務・技術員一人ひとりの安全能力向上 ～事務・技術員向け全社ツールの紹介～

ねらい

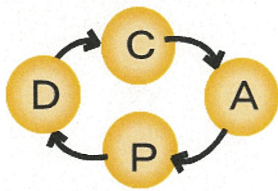
一人ひとりの安全能力を見える化と、相互啓発による能力向上を通じた事務・技術員向け「自分の身は自分で守れる人」の育成

概要

事務・技術系職場で安全意識及びKY能力向上、当事者意識醸成へ向け、全社ツールを作成しています。

事務・技術系職場の安全活動のイメージ

定期的なチェックと日々の訓練と実践で着実に継続的な安全活動を推進



定期的なチェック periodical check	日々の訓練と実践 daily training and practice	
<p>① 安全人間づくり活動 Activity to develop safety human 他職場事例 example of other workplace activity</p>	<p>② 危険予知 danger prediction</p>	<p>③ 過去の災害事例 Example of past incident</p>

①安全人間づくり活動

目的：自己診断と気づき、上司とのコミュニケーション

安全人間評価シート

評価項目	評価 いも	評価基準（または数値内に入る）	
		<行動>	<意識レベル>
① ポケ手歩行	1	ためらいなく、ポケ手歩行している	自分は危険なと思っている
	2	ためらうものの、ついポケ手歩行する	危ないとは思っていない
	3	普段はポケ手歩行しないが、寒い時等にたまにすることがある	危ないと思うが、ついやってしまうことがある
	4	ポケ手歩行はしていない	危ないと思っており、決してしない
	5	ポケ手歩行はしていないが、かつ周囲にも注意喚起している	危ないと思っており、決してしない、かつ周囲への注意喚起もする
② 携帯、iPod等の情報機器の使用	1	ためらいなく、情報機器を使いながら歩いている	自分は危険なと思っている
	2	ためらうものの、つい情報機器を使いながら歩く	危ないとは思っていない
	3	普段は情報機器を使わないが、場合により使いながら歩くことがある	危ないと思うが、ついやってしまうことがある
	4	情報機器を使いながら歩くことはない	危ないと思っており、決してしない
	5	情報機器を使いながら歩くことはないが、かつ周囲にも注意喚起する	危ないと思っており、決してしない、かつ周囲への注意喚起もする
③ 階段昇降	1	ためらいなく、手摺を持たない、小走り、股飛ばしは、よくしている	自分は危険なと思っている
	2	ためらうものの、手摺を持たない、小走り、股飛ばしは、よくしている	危ないとは思っていない
	3	手摺は持つが、小走りが股飛ばしは、たまにすることがある	危ないと思うが、ついやってしまうことがある

評価シートを使って上司と面談



1回目：2012年 5月 28日

評価項目	自己評価 (1-5)
歩行の基本遵守	3
① 「ポケ手歩行しない」の実践	4
② 「携帯等の情報機器を使いながら歩かない」の実践	4
③ 階段昇降時の基本	4
④ 道路横断時の基本	3
⑤ 業務現場での基本	4
⑥ 7ヤリハットの提案	3
安全な作業	3
⑦ 事務用品使用時の基本	3
⑧ 適切な服装	5
⑨ ASの実践	4
危険予知	4
⑩ 危険予知能力	4

自己安全宣言
・5つのKPI「ポケ手なし」を守り、安全人間を目指します!!

②危険予知能力向上

目的：各種の場面で、危険予知（KY）し、安全感性の高い人づくり

1分KY



4ラウンドKY



4ラウンドKYの出前研修
新たなトレーナーを加え、
スケールアップし開始しま
す！

各種KY事例を冊子で
準備しています。昼礼や
ミーティング等で、活用を！



③過去の災害事例の活用

目的：同一同類災害の未然防止。自職場でメンバーの周知と対策推進

過去トラ集

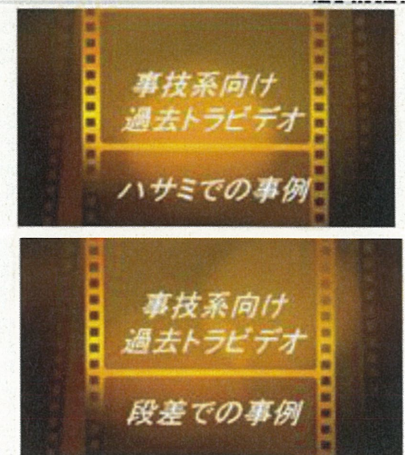


事技系災害過去トラ集



歩行災害日めくり

過去トラビデオ



事例3

コミュニケーション活性化事例



ねらい

コミュニケーションの活性化により，困りごとを共有・共感し，管理監督者からメンバー一人ひとりが本気になって解決に導くことにより，職場の一体感を生み出し，安全マインドや職場力・競争力を向上させる

概要

コミュニケーション

共有・・・情報の確かな伝達

共感・・・心や気持ちの通い合い

情報共有 「ヒヤリ情報の共有」

情報共有 「安全の広場」



直間ヒヤリハットの情報共有



- トップ、管理監督者、全課員の「考動宣言」
- 朝礼
- 災害情報(過去トラ)共有
- 活動のKPI

ゼロ災達成「ダルマ」(月)



安全の「約束手形」



「未経験者」への腕章



未経験者毎に「腕章」を変える

気にして上げる・観て上げる

「安全の碑」



「建立」の思い



旧「ダルマ」の奉納



部員の「安全宣言」

「安全の思い」の大判焼き



「思い」を腹に落とす。
新人受入れ、教育、フォロー
や安全の各種イベントで活用

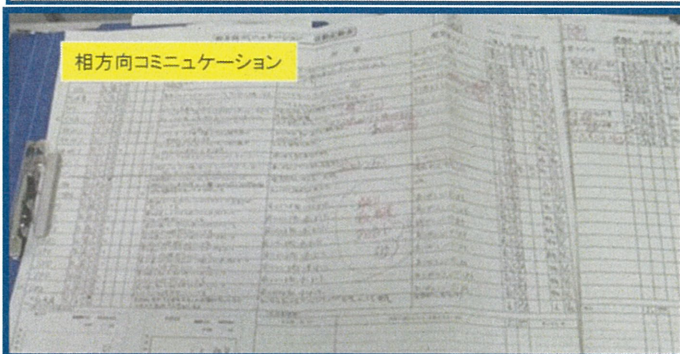
共感「相方向コミュニケーション」

組立部 DCH 2010/4/21

**組立部 相方向コミュニケーションシート活用の
基本的な考え方と運用方法**

★基本的な考え方と心

1. GL、TL、チームメンバー全員が、職場の困り事を共有化する、コミュニケーションツールである。
2. 風化させない、忘れない為に書き残す為の物である。
3. 提案してくれた事は、有り難いことであり、安全な職場づくり、良い車づくりに貢献する事である。管理監督者は、… ありがとう … が必要である。
4. 職制も含め、グループ全員で記入、提案する物である。
5. 提案してくれた事は否定してはならない。(記録は残し、該当外は保留とする)
6. 安全にかかわる事及び、困りごとは、全て記入の対象である。
7. 対策は計画を立てて進め、上司及び関係部署への依頼、連携を取り … (下駄を預ける) として フォローする。
8. 車両構造問題等、やりにくい作業は、技室及び関係者と調査対策を進める。一方でPPCとして提案する。
9. 提案吸上げは、基本的に毎日であるが、組運営の状況に委ねる。
10. 根こそぎ拾って見切る事は職制の業務である。



組立部 DCH H24.12.13

組立部 相方向懇談会での

問題点	改善策	誰が
1. 計画停止の放送がわからない。異常なのか？なんなのか？	放送があったら、ボードなどに書いて教える。	TLもしくは近くの人
2. コミュニケーション	少しずつでも手紙を書き添えていく。または ホワイトボード又は紙にて筆談。	TLもしくは近くの人
3. 工程でのコミュニケーション 一方的にしるから聞かない	ゆっくりと話を聞かせ、口元を大きくしゃべる または ホワイトボード又は紙にて筆談。	TLもしくは近くの人
4. 聴取者の気持ちになってほしい。	お互いに相手の気持ちになって考える	TLもしくは近くの人
5. タバココーナーが狭い	お互いに譲り合って早く場所を空ける。	タバコを吸う人
6. 異者が作業出きる工程が限られる。	異者でも作業出きる工程を作りをして、たくさんの工程で作業出きるように考えていく。	現場の人と異者 (各PJ又は各担当技室)

組立部 DCH H25.12.13

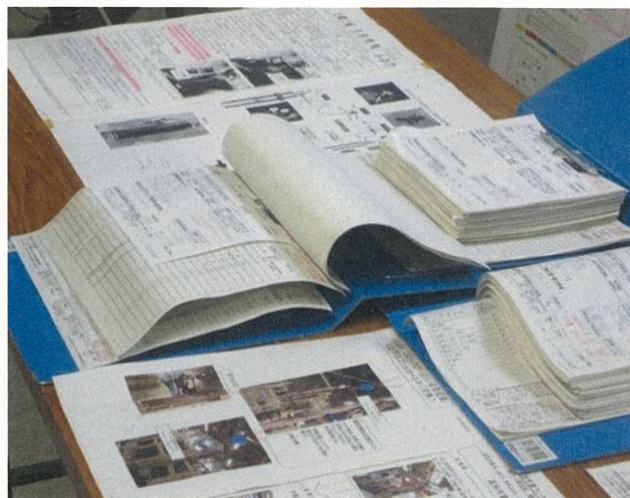
組立部 相方向懇談会での

問題点	改善策	誰が
1. 計画停止の放送がわからない。異常なのか？なんなのか？	パンドンに放送が出せないか？ 検討してみる。 計画停止等	組立技務員室
2. 教育の時に誰かの工場の人。2人で1人通訳者あり 通工場は5人に1人の通訳者	ほかの工場並みに通訳者を派遣できませんか？	人事Gで話し合う
3. 教育の時、聴取者のペースで教育が進められている。	聴取者のペースで教育を進められないか？	人事Gで話し合う
4. 教育の時、GL、GLが教育担当に承認しなくても、手紙通訳者が付くようにして下さい。	皆さんの事は教育名簿でわかりますので、人事に相談してみます。	組立課と人事G
5. TREC前 五月池の交差点で 右折のレーンが専用で無い為、直進もでき、直進車と右折車で衝突する恐れがある。	TREC前 五月池の交差点に右折の矢印線を入れられるか、豊田市市議の中村先生に相談してみる。 直進車の交差点に矢印線が設置されている。 直進車は、車道の中央に直進の矢印線があり、直進車専用と併用可能。	組立課と豊田南市議

このほかにも何か気付いた事がありましたら、いつでもDCH又は、ロッカーなどにある目安箱に投函して下さい。

仕組み化し継続と内容の充実

共感「S(ジョ)トKYシートの活用」



作業前に短時間でKY実施しKY能力の見える化⇒向上

『COMシート』を通じた安全活動

ねらい

- ①安全・品質・生産等の困りごとの吸い上げ
⇒ 改善し、やりにくい作業をなくし、安全な職場をつくる。
- ②シートを活用し、不安全箇所を摘出できる目を養う
- ③ボトムアップ活動で、コミュニケーションを図る

概要

COMシートとは(Communication)

- ①気が付いたら自分の提案用紙に記入する(どうしたらよいかまで)
- ②職制が内容を確認し対策又は回答を記入する
- ③職制の対策に対して提案者が○×の判定を行う
- ④CLは毎日進捗フォローを行う
- ⑤代表事例の現地確認会と「安全広場」掲示での共有

- ・心のこもった、相方向のコミュニケーション。
- ・現場に出向き、褒めて、労う。
- ・COMシートに、課長・次長の労いコメントを記載。

COMシートを用いた改善事例



COMシート活動の狙い

- ① 全員で、安全・品質・生産等の困り事を吸い上げ改善し、やり難い作業の無い働き易い職場の風土づくり。
- ② 全員で不安全箇所を日常的に改善することで、職場のコミュニケーションを高める。
- ③ ボトムUPにより、自ら報告し、上司が現地現物で確認してほめる活動の実施。